

渡島・檜山地方の気象

平成24年9月（2012年）

函館海洋気象台

平成24年10月30日

◎ 気象概況

この期間の天気は周期的に変化したが、上旬の後半から中旬の中頃は北海道付近に停滞した前線の影響で大雨となる所があった。

平均気温は平年よりかなり高く、降水量は一部を除いて平年並～平年より多く、日照時間は一部を除いて平年並～平年より多かった。

【上旬】

1日は、高気圧に覆われ概ね晴れたが、気圧の谷の影響で日本海側の一部で雨が降った。2日は、オホーツク海の冷たい高気圧に覆われ、太平洋側では曇ったが日本海側は晴れた。3日は、千島近海の冷たい高気圧に覆われ、太平洋側では曇ったが、日本海側は晴れた。4日は、千島近海の冷たい高気圧に覆われ、太平洋側の一部で雨が降ったが、日本海側は晴れた。5日は、気圧の谷の影響で、曇で昼前まで雨の降った所があった。6日は、前線の影響で夕方まで雨が降った。7日は、高気圧に覆われ晴れた。8日は、高気圧に覆われ晴れたが、前線が接近した影響で夜のはじめ頃から雨が降った。9日～10日は、前線の影響で雨が降った。

【中旬】

11日は、前線の影響で雨が降った。12日は、高気圧に覆われ晴れたが、日本海の低気圧の影響で昼前まで雨の降った所があった。13日～14日は、高気圧に覆われ晴れた。15日は、高気圧に覆われ晴れたが、前線の影響で昼過ぎから雨が降った。16日は、前線の影響で曇って昼前まで雨が降った。17日は、高気圧に覆われ晴れたが、前線の影響で曇った所があった。18日は、高気圧に覆われ概ね晴れた。19日は、前線の影響で雨が降った。20日は、高気圧に覆われ概ね晴れた。

【下旬】

21日は、気圧の谷の影響で曇った。22日は、高気圧に覆われ晴れた。23日は、高気圧に覆われ概ね晴れたが、上空に寒気が入り昼過ぎから雨の降った所があった。24日は、低気圧を含む気圧の谷の影響で雨が降ったが、昼前まで晴れた所があった。25日は、低気圧を含む気圧の谷の影響で雨が降った。26日は、高気圧に覆われ概ね晴れたが、気圧の谷の影響で昼前まで雨の降った所があった。27日は、高気圧に覆われ概ね晴れたが、気圧の谷の影響で雨の降った所があった。28日は、日本の東海上を北上する前線の影響で、曇って昼過ぎから雨の降った所があった。29日は、低気圧の影響で、曇って雨の降った所があった。30日は、低気圧の影響で雨が降った。

気 温：各地点の月平均気温は 20.5 ～ 23.1 ℃で、平年差は+3.4 ～ +4.3 ℃。
 すべての観測点で平年よりかなり高かった。

降 水 量：各地点の月降水量は 125.0 ～ 320.5 mmで、平年比は 64 ～ 227 %。
 函館市川汲では平年より少なく、八雲町八雲・北斗・木古内・七飯町大沼・福島町千軒・奥尻町稲穂では平年並、そのほかの観測点では平年より多く、特に松前・八雲町熊石・乙部町潮見・上ノ国町石崎では平年よりかなり多かった。

日照時間：各地点の月間日照時間は 119.5 ～ 203.8 時間で、平年比は 80 ～ 125 %。
 長万部・八雲町八雲・函館市川汲・せたな町瀬棚・今金では平年より少なく、函館市美原・木古内・奥尻町稲穂では平年並、そのほかの観測点では平年より多く、特に松前では平年よりかなり多かった。

◎ **気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の統計値**

	気温 (℃)		降水量		日照時間	
	月平均	平年差	月合計 (mm)	平年比 (%)	月合計 (時間)	平年比 (%)
函 館	22.5	+4.2	194.0	127	162.5	103
江 差	23.0	+3.9	222.0	167	188.3	116

(平年比・差は 1981 年から 2010 年までのデータで算出した平年値を用いて求めている。)

◎ **気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の極値更新表**

官署名	項目名	観測した 極値	起年月日	従来の 極値	起年月日	統計 開始年
函 館	日最高気温の高い方から	32.6℃	9月18日	32.0℃	2011.9.3	1872年
函 館	月平均気温の高い方から	22.5℃	9月	20.4℃	1890.9	1872年
江 差	日最大10分間降水量	21.0mm	9月9日	20.5mm	2010.9.6	1941年
江 差	日最高気温の高い方から	33.6℃	9月18日	31.0℃	1986.9.2	1941年
江 差	月平均気温の高い方から	23.0℃	9月	21.3℃	1994.9	1941年

◎ 異常気象および気象災害発生状況

《9月8-11日 渡島地方》

概況：8日夜、日本海から停滞前線が接近し、11日夜にかけて渡島半島に停滞した。このため大気の状態が不安定となり大雨をもたらした。

気象現象名：大雨・強雨

気象災害名：浸水害・土石流害

気象観測値：

観測項目	観測値	起時・期間	観測地点
期間降水量・平年比	121.0mm (587%)	9月8日～9月11日	函館
期間降水量・平年比	139.0mm (665%)	9月8日～9月11日	大沼
最大日降水量	55.0mm	9月9日	函館
最大日降水量	90.5mm	9月9日	大沼
最大1時間降水量	20.5mm	9月9日 0時31分まで	函館
最大1時間降水量	34.0mm	9月9日 19時33分まで	八雲
最大10分間降水量	10.5mm	9月8日 23時45分まで	函館
最大10分間降水量	17.0mm	9月9日 20時44分まで	大沼

被害状況：北斗市で市道冠水、七飯町で町道の洗掘、森町で農道の洗掘や公園施設の陥没、松前町で町道のり面崩壊などがあった。その他、JR 函館本線・江差線で運休 26 本、遅延 9 本などがあった。

《9月8-11日 檜山地方》

概況：8日夜、日本海から停滞前線が接近し、11日夜にかけて渡島半島に停滞した。このため大気の状態が不安定となり大雨をもたらした。

気象現象名：大雨・強雨

気象災害名：浸水害・山がけ崩れ害

気象観測値：

観測項目	観測値	起時・期間	観測地点
期間降水量・平年比	174.0mm (897%)	9月8日～9月11日	江差
期間降水量・平年比	185.5mm (976%)	9月8日～9月11日	石崎
最大日降水量	101.0mm	9月9日	江差
最大日降水量	106.5mm	9月9日	潮見
最大1時間降水量	50.0mm	9月9日 19時30分まで	江差
最大1時間降水量	54.0mm	9月9日 19時20分まで	潮見
最大10分間降水量	21.0mm	9月9日 19時18分まで	江差

被害状況：江差町で床下浸水1棟、乙部町で道道通行止めや町道のり面崩壊。その他、JR 路線で運休 23 本など。

《9月25日 渡島地方》

概況：北海道地方は、上空に強い寒気が入り、大気の状態が非常に不安定となっていた。

気象現象名：竜巻・強雨・雷・大雨

気象災害名：竜巻害・浸水害・落雷害

気象観測値：

観測項目	観測値	起時・期間	観測地点
最低海面気圧	1014.0hPa	9月25日 1時48分	函館
最大風向・風速	東 4.4m/s	9月25日 0時6分	函館
最大風向・風速	南東 9.3m/s	9月25日 17時18分	長万部
最大瞬間風向・風速	東南東 6.4m/s	9月25日 0時1分	函館
最大瞬間風向・風速	南東 18.1m/s	9月25日 17時12分	長万部
期間降水量・平年比	10.5mm (219%)	9月25日～9月25日	函館
期間降水量・平年比	113.0mm (2,132%)	9月25日～9月25日	長万部
最大日降水量	10.5mm	9月25日	函館
最大日降水量	113.0mm	9月25日	長万部
最大1時間降水量	4.0mm	9月25日 1時44分まで	函館
最大1時間降水量	52.0mm	9月25日 17時52分まで	長万部
最大10分間降水量	2.5mm	9月25日 1時0分まで	函館
最大10分間降水量	19.0mm	9月25日 17時21分まで	長万部
日最高気温・平年差	20.7°C (-0.4°C)	9月25日 16時1分	函館
日最高気温・平年差	21.4°C (+0.9°C)	9月25日 14時57分	八雲

被害状況：竜巻のため長万部町花岡周辺の国道5号線でトラック3台横転、ゴルフ練習場のネットの支柱折れや倉庫屋根剥離、JR函館報本線及び国道5号線や高速道路沿線で200本以上の倒木。その他、福島町で浸水2棟、松前町で落雷による送電設備復旧に伴う全町停電（3900戸）。

「長万部町花岡付近の竜巻は、藤田スケールでF1と推定、高速道路（国縫IC付近）の竜巻はF0と推定。」

【藤田スケール（Fスケール）】

竜巻やダウンバーストなどの風速を、構造物などの被害調査から簡便に推定するために、シカゴ大学の藤田哲也により1971年に考案された風速のスケール（日本気象学会編、1992）です。

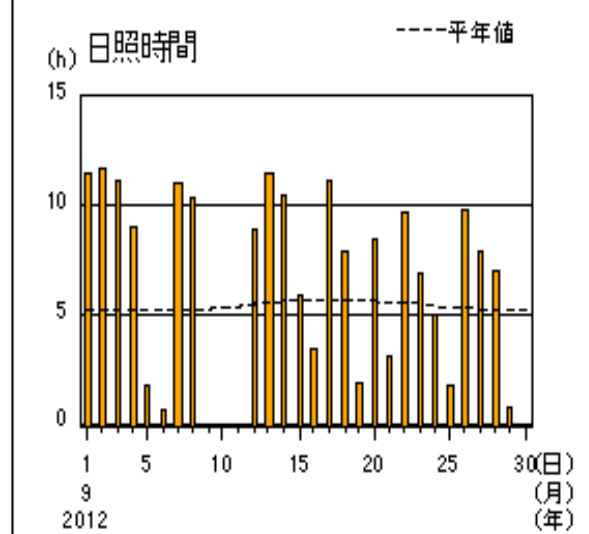
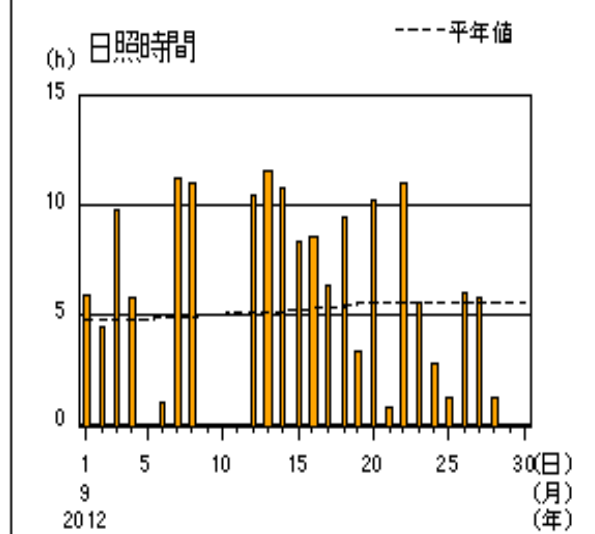
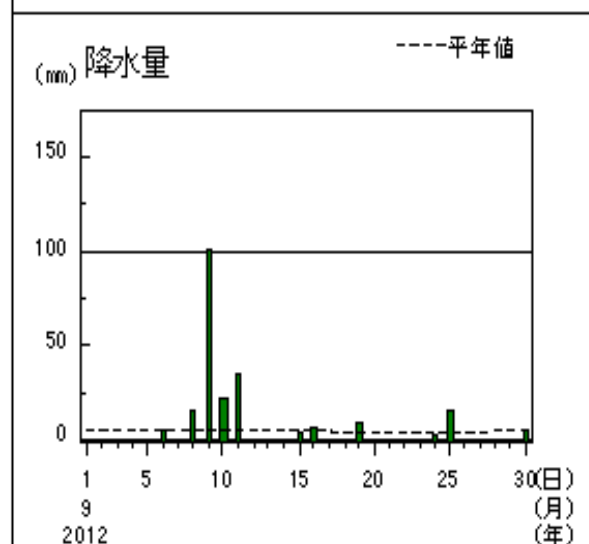
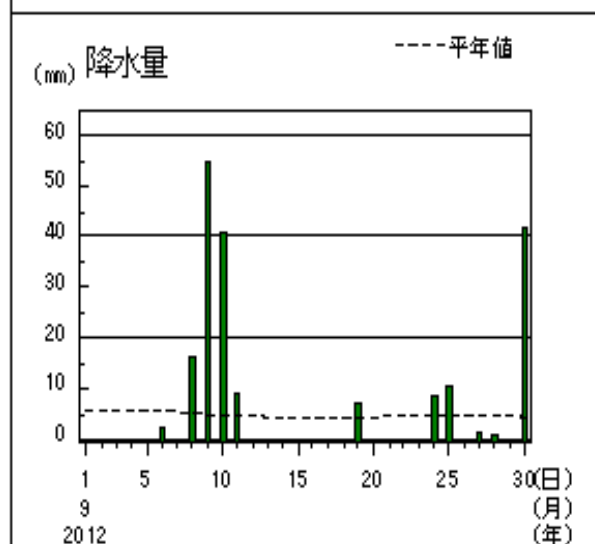
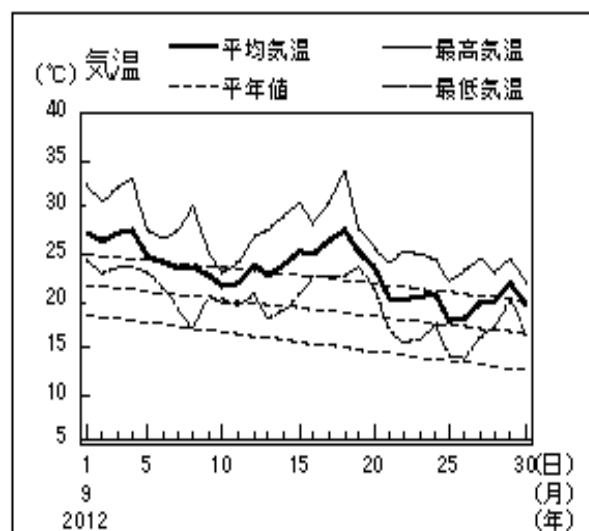
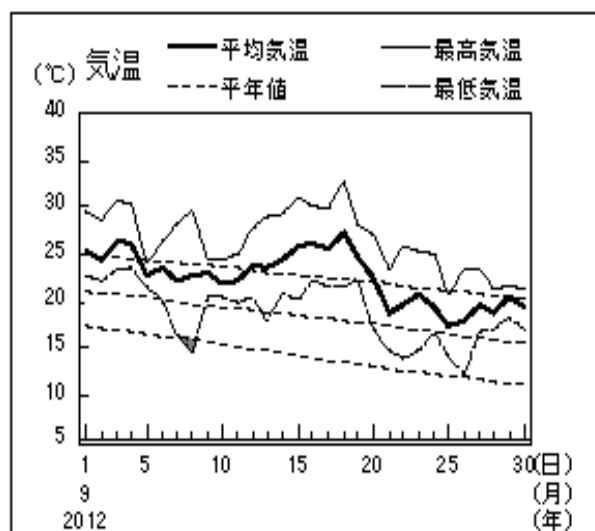
F0	17～32m/s (約15秒間の平均)	煙突やテレビのアンテナが壊れる。小枝が折れ、また根の浅い木が傾くことがある。非住家が壊れるかもしれない。
F1	33～49 m/s (約10秒間の平均)	屋根瓦が飛び、ガラス窓は割れる。またビニールハウスの被害甚大。根の弱い木は倒れ、強い木の幹が折れたりする。走っている自動車が横風を受けると道から吹き落とされる。
F2	50～69 m/s (約7秒間の平均)	住家の屋根がはぎとられ、弱い非住家は倒壊する。大木が倒れたり、またねじ切られる。自動車が道から吹き飛ばされ、また汽車が脱線することがある。
F3	70～92 m/s (約5秒間の平均)	壁が押し倒され住家が倒壊する。非住家はバラバラになって飛散し、鉄骨づくりでもつぶれる。汽車は転覆し、自動車が持ち上げられて飛ばされる。森林の大木でも、大半は折れるか倒れるかし、また引き抜かれることもある。
F4	93～116 m/s (約4秒間の平均)	住家がバラバラになってあたりに飛散し、弱い非住家は跡形なく吹き飛ばされてしまう。鉄骨づくりでもペシャンコ。列車が吹き飛ばされ、自動車は何十メートルも空中飛行する。1t以上もある物体が降ってきて、危険この上ない。
F5	117～142 m/s (約3秒間の平均)	住家は跡形もなく吹き飛ばされるし、立木の皮がはぎとられてしまったりする。自動車、列車などが持ち上げられて飛行し、とんでもないところまで飛ばされる。数トンもある物体がどこからともなく降ってくる。

◎ 気象経過図（9月）

地上気象：2012年9月1日-2012年9月30日

函館

江差



◎ 気象分布図（9月）

